

関係各位

薬 剤 部 長

## 医薬品情報第 3 号（令和 3 年度）

令和3年6月9日に開催された薬事委員会において、次の事項が承認されましたのでお知らせいたします。新規試用採用医薬品は4品目、新規採用医薬品は5品目、削除医薬品は7品目です。

## 〔新規試用採用医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	プロポフォール 1% 静注 20mL 「マルイシ」	¥536.0/管	プロポフォール	全身麻酔鎮静剤	非該当	丸石
2	プロポフォール 1% 静注 100mL「マルイシ」	¥1,110.0/ 本	プロポフォール	全身麻酔鎮静剤	非該当	丸石
3	ミヤBM錠	¥5.7/錠	酪酸菌製剤錠	生菌剤	可	ミヤサン製薬
4	ミヤBM細粒	¥6.3/g	酪酸菌製剤細粒	生菌剤	可	ミヤサン製薬

## 〔新規採用医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	フォシーガ錠 10mg	¥274.3/錠	ダバグリフロジンプロピレン グリコールル水和物	選択的 SGLT2 阻害剤	可	アストラゼ ネカ
2	ゲーフィス錠 5mg	¥100.2/錠	エロビキシバット水和物	胆汁酸トランスポータ阻 害剤	可	EA ファー マ=持田
3	バンコマイシン塩酸塩散 0.5g 「明治」	¥909.6/瓶	バンコマイシン塩酸塩	グリコペプチド系抗生物 質製剤	可	Meiji Seika
4	バンコマイシン塩酸塩点滴静注 0.5g「明治」	¥681.0/瓶	バンコマイシン塩酸塩	グリコペプチド系抗生物 質製剤	非該当	Meiji Seika
5	バンコマイシン塩散塩点滴静注 1.0g「明治」	薬価収載未	バンコマイシン塩酸塩	グリコペプチド系抗生物 質製剤	非該当	Meiji Seika

※3,4,5 は、小林化工の[MEEK]からの切替え。5 は、8 月に発売予定のため、8 月以降切替え。

## 〔新規診療科限定医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	オクトレオスキャン静注用セット	¥117,602/セット	インジウムペンテトレオチド 注射用薬調製用	神経内分泌腫瘍診断薬	非該当	富士フイルム 富山化学

※放射線科限定

☆削除対象医薬品について

No	薬品名	薬効	同効薬	理由
1	ソランタール錠 100mg	鎮痛・抗炎症剤	アセトアミノフェン	処方量が少ないため。 採用医薬品の整理。
2	チクロピジン塩酸塩細粒 10%「サワイ」	抗血小板剤	クロピドグレル、チクロピジン塩酸塩錠	2021.12 製造販売中止のため。
3	ラックビー錠	整腸剤	ミヤBM錠、ビオフェルミンR	採用医薬品の整理のため。
4	ラックビー微粒N	整腸剤	ミヤBM細粒、ビオフェルミンR	採用医薬品の整理のため。

☆削除医薬品について

No	削除医薬品	薬効	同効薬	理由	在庫数 (2021.6 時点)
1	ニカルジピン塩酸塩散 10% 「日医工」	Ca拮抗薬	アムロジピン、ベニジピン 等	使用量が少ないため	100g
2	バファリン配合錠A330mg	解熱鎮痛消炎剤	アスピリン末	2022.3 で製造販売中止のため	167 錠
3	クリノリル錠 100mg	非ステロイド性消炎・鎮痛剤	アセトアミノフェン	採用品目の整理。出荷停止のため。	344 錠
4	オムニパーク 350 注シリンジ 70mL	非イオン性造影剤	オムニパーク 350 注シリンジ 100mL 等	放射線科限定だが不要とのこと。	0
5	バンコマイシン塩酸塩散 0.5g「MEEK」	グリコペプチド抗生物質製剤	バンコマイシン塩酸塩散「明治」	製造販売中止のため 採用メーカー変更。	73V
6	バンコマイシン塩酸塩点滴静注 0.5g「MEEK」		バンコマイシン塩酸塩点滴静注 0.5g「明治」		68V
7	バンコマイシン塩酸塩点滴静注 1.0g「MEEK」		バンコマイシン塩酸塩点滴静注 1.0g「明治」		146V

\*在庫の使用促進にご協力をお願い致します。1-3 については、引き続き院外処方が可能です。

☆Drug Information News(350 号、2021.6 号)

1. DRUG SAFETY UPDATE(No.299)

2. その他 重要な添付文書改訂情報

一般名/採用薬品	改訂箇所・内容
ラモトリギン/ ラミクタール錠	<b>[11.1 重大な副作用] 一部改訂</b> 11.1.1 中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) 、 <u>皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)</u> 、 <u>多形紅斑</u> 、発熱、眼充血、顔面の腫脹、口唇・口腔粘膜や陰部のびらん、皮膚や粘膜の水疱、紅斑、咽頭痛、そう痒、全身倦怠感等の異常が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。
ベプリジル塩酸塩水和物/ ベプリコール錠	<b>[禁忌] 一部改訂</b> リトナビル、サキナビルメシル酸塩、アタザナビル硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和

	<p>物、イトラコナゾール、アミオダロン塩酸塩（注射）、エリグルスタット酒石酸塩、<u>シポニモドフマル酸</u>を投与中の患者</p> <p><b>【併用禁忌】 追記</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シポニモドフマル酸</td> <td>併用によりTorsades de pointes等の重篤な不整脈を生じるおそれがある。</td> <td>シポニモドフマル酸の投与により心拍数が減少するため、併用により不整脈を増強するおそれがある。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【併用禁忌】 削除</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テラブレビル</td> <td>本剤の血中濃度上昇により、重篤な又は生命に危険を及ぼすような事象が起こるおそれがある。</td> <td>これらの薬剤のチトクロームP450に対する阻害作用により、本剤の代謝が阻害される可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	シポニモドフマル酸	併用によりTorsades de pointes等の重篤な不整脈を生じるおそれがある。	シポニモドフマル酸の投与により心拍数が減少するため、併用により不整脈を増強するおそれがある。	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	テラブレビル	本剤の血中濃度上昇により、重篤な又は生命に危険を及ぼすような事象が起こるおそれがある。	これらの薬剤のチトクロームP450に対する阻害作用により、本剤の代謝が阻害される可能性がある。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
シポニモドフマル酸	併用によりTorsades de pointes等の重篤な不整脈を生じるおそれがある。	シポニモドフマル酸の投与により心拍数が減少するため、併用により不整脈を増強するおそれがある。											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
テラブレビル	本剤の血中濃度上昇により、重篤な又は生命に危険を及ぼすような事象が起こるおそれがある。	これらの薬剤のチトクロームP450に対する阻害作用により、本剤の代謝が阻害される可能性がある。											
<p>リファンピシン/ リファジンカプセル</p>	<p><b>【禁忌】 一部改訂</b></p> <p><u>ルラシドン塩酸塩</u>、<u>タダラフィル</u>（アドシルカ）、マシテンタン、ペマフィブラート、チカグレロル、<u>ロルラチニブ</u>、<u>ポリコナゾール</u>、ホスアンプルナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、<u>リルピビリン塩酸塩</u>、<u>リルピビリン塩酸塩・テノホビルジソプロキシシルフマル酸塩</u>・<u>エムトリシタビン</u>、<u>リルピビリン塩酸塩・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩</u>・<u>エムトリシタビン</u>、<u>ルテグラビルナトリウム</u>・<u>リルピビリン塩酸塩</u>、<u>エルビテグラビル</u>・<u>コビシスタット</u>・<u>エムトリシタビン</u>・<u>テノホビルジソプロキシシルフマル酸塩</u>、<u>エルビテグラビル</u>・<u>コビシスタット</u>・<u>エムトリシタビン</u>・<u>テノホビルアラフェナミドフマル酸塩</u>、<u>ドラビリン</u>、<u>ダクラタスビル塩酸塩</u>、<u>アスナプレビル</u>、</p>												

リファンピシン/  
リファジンカプセル

ソホスブビル、レジパスビルアセトン付加物・ソホスブビル、ソホスブビル・ベルパタスビル、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル、テノホビルアラフェナミドフマル酸塩、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩、エルバスビル、グラゾプレビル水和物、アメナメビル、アルテメテル・ルメファントリン又はプラジカンテルを投与中の患者

【併用禁忌】 一部改訂

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高脂血症用剤： ベマフィブラート	ベマフィブラートの血中濃度が上昇するおそれがある。	本剤がトランスポーター(OATP1B1及びOATP1B3)を阻害すると考えられている。
抗ウイルス剤 (HIV感染症治療薬)： リルビピリン塩酸塩、 <u>リルビピリン塩酸塩</u> ・ <u>テノホビルジソプロキシルフマル酸塩</u> ・ <u>エムトリシタビン</u>	これらの薬剤の作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4)誘導作用により、リルビピリン塩酸塩の代謝を促進し、C <sub>min</sub> 、C <sub>max</sub> 及びAUC <sub>0-24</sub> をそれぞれ89%、69%及び80%低下させると考えられている。

【併用禁忌】 追記

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
精神神経用剤： ルラシドン塩酸塩	ルラシドン塩酸塩の作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A4誘導作用により、ルラシドン塩酸塩の代謝を促進し血中濃度を低下させると考えられている。
抗悪性腫瘍剤： ロルラチニブ	ALT及びASTが上昇するおそれがある。	機序は不明である。
抗ウイルス剤 (HIV感染症治療薬)： リルビピリン塩酸塩・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩・エムトリシタビン	リルビピリン及びテノホビルアラフェナミドの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A誘導作用により、リルビピリンの代謝が促進し、血中濃度を低下させると考えられている。また、P糖蛋白誘導作用により、テノホビルアラフェナミドの血中濃度を低下させると考えられている。
抗ウイルス剤 (HIV感染症治療薬)： ドルテグラビルナトリウム・リルビピリン塩酸塩	ドルテグラビル及びリルビピリンの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A4及びUGT1A1誘導作用により、ドルテグラビルの代謝が促進し、血中濃度を低下させると考えられている。また、CYP3A4誘導作用によりリルビピリンの代謝が促進し、血中濃度を低下させると考えられている。
抗ウイルス剤 (HIV感染症治療薬)： ドラビリン	ドラビリンの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝を促進し血中濃度を低下させると考えられている。
抗ウイルス剤： ソホスブビル・ベルバタスビル	ソホスブビル及びベルバタスビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP及びP糖蛋白誘導作用により、ソホスブビル及びベルバタスビルの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。
抗ウイルス剤： ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩	ビクテグラビルの血漿中濃度が低下するため、効果が減弱し、耐性が発現する可能性があることから、併用しないこと。また、テノホビルアラフェナミドの血漿中濃度も低下する可能性がある。	本剤のCYP3A、UGT1A1及びP糖蛋白誘導作用によるものと考えられている。

一般名/採用薬品	改訂箇所・内容																		
リファンピシン/ リファジンカプセル	<p>[併用禁忌] 削除</p> <p>抗ウイルス剤 (HIV 感染症治療薬) : インジナビル硫酸塩エタノール付加物、サキナビルメシル酸塩、ネルフィナビルメシル酸塩</p> <table border="1" data-bbox="635 405 1066 1128"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>抗ウイルス剤： テラプレビル</td> <td>テラプレビルの作用が 減弱するおそれがある。</td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 テラプレビルの代謝を促進 し、AUCを92%低下させると 考えられている。</td> </tr> <tr> <td>抗ウイルス剤： シメプレビルナトリウム</td> <td>シメプレビルナトリウムの作用が減弱するおそれがある。</td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 シメプレビルナトリウムの 代謝を促進し、C<sub>min</sub>及び AUCをそれぞれ92%及び48% 低下させると考えられている。</td> </tr> <tr> <td>抗ウイルス剤： ダクラタスビル硫酸塩・アスナプレビル・ベクラピビル硫酸塩</td> <td>ダクラタスビル硫酸塩、アスナプレビル及びベクラピビル硫酸塩の作用が減弱するおそれがある。</td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 ダクラタスビル硫酸塩、ア スナプレビル及びベクラピ ビル硫酸塩の代謝を促進 し、血中濃度を低下させると 考えられている。</td> </tr> <tr> <td>抗ウイルス剤： バニプレビル</td> <td>バニプレビルとの併用 初期に、バニプレビルの 血中濃度が上昇する おそれがある。また、 併用継続により、併用 初期よりもバニプレビ ルの血中濃度が低下す るおそれがある。</td> <td>有機アニオントランスポー ター (OATP1B1及びOATP1B3) を介したバニプレビルの肝 臓への取り込みを阻害する と考えられている。また、 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 バニプレビルの代謝が促進 されると考えられている。</td> </tr> <tr> <td>抗ウイルス剤： オムビタスビル水和物・バリタプレビル水和物・リトナビル</td> <td>バリタプレビル水和物及びリトナビルの作用が減弱するおそれがある。</td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 バリタプレビル水和物及び リトナビルの代謝を促進 し、血中濃度を低下させると 考えられている。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	抗ウイルス剤： テラプレビル	テラプレビルの作用が 減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 テラプレビルの代謝を促進 し、AUCを92%低下させると 考えられている。	抗ウイルス剤： シメプレビルナトリウム	シメプレビルナトリウムの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 シメプレビルナトリウムの 代謝を促進し、C <sub>min</sub> 及び AUCをそれぞれ92%及び48% 低下させると考えられている。	抗ウイルス剤： ダクラタスビル硫酸塩・アスナプレビル・ベクラピビル硫酸塩	ダクラタスビル硫酸塩、アスナプレビル及びベクラピビル硫酸塩の作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 ダクラタスビル硫酸塩、ア スナプレビル及びベクラピ ビル硫酸塩の代謝を促進 し、血中濃度を低下させると 考えられている。	抗ウイルス剤： バニプレビル	バニプレビルとの併用 初期に、バニプレビルの 血中濃度が上昇する おそれがある。また、 併用継続により、併用 初期よりもバニプレビ ルの血中濃度が低下す るおそれがある。	有機アニオントランスポー ター (OATP1B1及びOATP1B3) を介したバニプレビルの肝 臓への取り込みを阻害する と考えられている。また、 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 バニプレビルの代謝が促進 されると考えられている。	抗ウイルス剤： オムビタスビル水和物・バリタプレビル水和物・リトナビル	バリタプレビル水和物及びリトナビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 バリタプレビル水和物及び リトナビルの代謝を促進 し、血中濃度を低下させると 考えられている。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																	
抗ウイルス剤： テラプレビル	テラプレビルの作用が 減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 テラプレビルの代謝を促進 し、AUCを92%低下させると 考えられている。																	
抗ウイルス剤： シメプレビルナトリウム	シメプレビルナトリウムの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 シメプレビルナトリウムの 代謝を促進し、C <sub>min</sub> 及び AUCをそれぞれ92%及び48% 低下させると考えられている。																	
抗ウイルス剤： ダクラタスビル硫酸塩・アスナプレビル・ベクラピビル硫酸塩	ダクラタスビル硫酸塩、アスナプレビル及びベクラピビル硫酸塩の作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 ダクラタスビル硫酸塩、ア スナプレビル及びベクラピ ビル硫酸塩の代謝を促進 し、血中濃度を低下させると 考えられている。																	
抗ウイルス剤： バニプレビル	バニプレビルとの併用 初期に、バニプレビルの 血中濃度が上昇する おそれがある。また、 併用継続により、併用 初期よりもバニプレビ ルの血中濃度が低下す るおそれがある。	有機アニオントランスポー ター (OATP1B1及びOATP1B3) を介したバニプレビルの肝 臓への取り込みを阻害する と考えられている。また、 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 バニプレビルの代謝が促進 されると考えられている。																	
抗ウイルス剤： オムビタスビル水和物・バリタプレビル水和物・リトナビル	バリタプレビル水和物及びリトナビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A4) 誘導作用により、 バリタプレビル水和物及び リトナビルの代謝を促進 し、血中濃度を低下させると 考えられている。																	

☆その他

1. 医薬品出荷調整、停止について

- ゼルフォーム→外製造所での製造・供給が停滞していることから、6月にも国内の在庫消尽する可能性大。代替品は、サージセル・アブソバブルヘモスタット 等。
- ペルサンチン錠 100mg→出荷予定の製品において、溶出試験の規格に適合せず出荷停止。  
薬剤部在庫は、4-5ヶ月分確保しているが、それでも在庫消尽することがあれば、マスタは一旦停止。25mgの製剤で代用する予定。
- オメプラゾール注射用 20mg「日医工」→他社同一成分の出荷停止による影響で、一時的に供給制限。

10V 入り 30 箱/月 調達は可能。

不足となればタケロン静注で代用を依頼。

・イソゾール注射用 0.5g→COVID-19 患者増加に伴う需要増大で、一時的に出荷調整中。

10V 入り 1 箱/月は調達可能。